

カリキュラム

コースコード：21-120

中小企業大学校 直方校

タイトル	生産現場の改善の進め方				
サブタイトル	QCDの視点で考えるものづくり現場の改善法				
研修のねらい	ものづくり企業が人手不足の問題や競合先との厳しい競争などに柔軟に対応し、工場全体の生産性を高めるための取組みを実践していくためには、そのベースとなる生産現場の改善活動が重要なテーマとなります。 本研修では、現場の作業者の主体性や意欲を引き出し、安全かつ効率的な労働環境を作り上げていくために必要となる現場改善手法の具体的な実践ポイントについて、事例や自社演習等を交えながら学んでいただきます。				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 現場改善の基礎知識について、体系的に解説します。 現場改善の具体的な実践ポイントについて学びます。 自社の現状と課題を整理し、改善プランを立案します。 				
日程	2021年9月1日（水）～9月3日（金）	日数	3日	時間数	21時間
対象者	管理者、新任管理者 ・製造部門の管理者・リーダーの方 ・生産現場の改善手法を具体的に学びたい方 ・生産活動の効率化・生産性向上に関するヒントがほしい方	定員	30名	受講料	32,000円
		会場	中小企業大学校直方校		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
9/1 (水)	9:10~9:30	開講式・オリエンテーション		株式会社ジェック経営コンサルタント 営業本部 取締役部長 高田 忠直
	9:30~12:30	生産現場改善の基礎知識	生産現場で改善活動を行う上で必要な視点や目的・意義等について、事例を交えて学んでいただきます。	
	13:30~17:30		<ul style="list-style-type: none"> 現場改善の意義と目的 生産管理の体系と手法 現場改善と生産性の向上のかかわり 現場リーダーに求められる役割と行動 	
9/2 (木)	9:00~12:30	成果を高める改善手法とその実践法	現場改善活動の具体的な手法とその実践ポイントについて、演習を交えて学んでいただきます。	
	13:30~17:30		<ul style="list-style-type: none"> 現場改善で最初に見極めたいこと 現場改善の具体的な手順 I E技法、V Eの活用法 Q C Dの視点から見る改善活動事例 改善活動を定着化させる仕組み 	
9/3 (金)	9:00~12:30	自社の改善活動プランの検討 (演習)	研修のまとめとして、自社工場の効率化・生産性向上に向けた改善活動プランの立案に取り組んでいただきます。	
	13:30~16:30		<ul style="list-style-type: none"> 自社の生産現場の現状と課題 改善活動の内容・スケジュール等の検討 自身の果たすべき役割 担当講師からのアドバイス 	
	16:30~16:40	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
高田 忠直 (たかた ただなお) 株式会社ジェック経営コンサルタント 営業本部 取締役部長	2000年に株式会社ジェック経営コンサルタント（富山県）に入社し、製造業・運送業・倉庫業・食品加工業・飲食業など、幅広い業種で現場の声に即した「実践型」の支援を展開。 幅広い業種に対して5 Sを活用した企業体質改善の支援に取り組み、製造業では品質改善及び現場改善の推進とそれらを通じた管理者の成長、運送業では無事故・経費削減とドライバーの意識改善、飲食業では接客改善と予約件数増加等、多数の支援実績と成果を誇る。また、2016年には海外（カンボジア）での5 S活動研修を実施。 「会社で働く仲間の気持ち一つで企業は成長できる！」という信念の下で、「曖昧排除・凡事徹底」と「明るく・楽しく・元氣よく挑戦しよう！」をスローガンにしてコンサルティングを行っている。

備考

※全日とも、12:30~13:30は休憩時間となります。
※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。